

記 事

◎第13回理事会(昭.26.4.10)出席者:三浦会長,大西,稲浦両副会長,西松,北村,奥田,米元,丸安,国分の各理事

協議事項:(1)日本学術会議会長から「大学等学術研究機関の人事及び大学の教授会の権限に関する声明」について照会があつたが,大学等研究機関の人事に遺憾な事実を当学会としては聞及んでいない旨回答すること。(2)日本工学会評議員会,定時総会(4.18)に国分理事出席のこと。(3)日本工学会々長候補として当学会からは田中豊博士を推薦すること。(4)日本学術会議研究費配分委員会から「在ブラジル同胞日本科学後援会奨励金の申請について」照会があり差当り推薦すべきものが見当らず会誌に発表して会員に周知せしめること(第4号既載)。(5)現事務所隣接地を増借し拡張するため委員会を設けることとし,委員に稲浦鹿蔵,小沢久太郎,黒田静夫,富田恵吉,立花次郎,小宅智吉,徳善義光,田中豊,大西英一,平井彌之助,熊川信之,鶴飼孝造,水谷当起,沢勝蔵,安藤清太郎,種谷実,西松醇厚の諸氏,幹事に富樫凱一,今岡鶴吉の両氏を会長から委嘱し,委員長は互選すること。(6)特別員を各理事分担して勧誘増加をはかること。(7)名誉員推薦候補者を2月21日常議員会で決議したASCE会長Gail A. Hathaway氏の外に前会長久保田敬一氏,前関西支部長島重治及び松島寛三郎の両氏とする。こと。(8)5月26日通常総会で現理事の内三浦会長,大西副会長,佐藤,北村,奥田,国分,市浦の5理事が任期満了退任せらるゝについて後任候補として,会長に大西英一氏,副会長に立花次郎氏,理事に富樫凱一,今岡鶴吉,樺島正二,本間仁,高畑政信の5氏を常議員会に推薦すること。(9)会員入退会の承認。

◎各種委員会

(1)編集委員会(昭.26.4.20)出席者:奥田委員長,米元副委員長,福田,本間,最上各編集顧問,脇沢,井口,宮崎,後藤,西村,早川,河上,伊丹,奥村各委員,三宅主任,中川書記長,岡本職員。

協議事項:(1)寄稿原稿の審査,(2)第36巻第6号登載論文を下記の通り決定

会長講演,新井義輔:第4回国際大堰堤会議及び視察旅行報告,太田誠一郎:砂の表面積と透水係数との関係について,久宝保:沖積地における河川流について(第2報)。最上武雄:土質力学体系への一試案,後藤宇太郎:脱線係数式の一考察。

(3)6号以降講座に関しては吉越委員立案のもとにダム特論を5~6回に亘り登載,それ以後は港湾(宮崎委員立案)の予定

(2)用語委員会(昭.26.4.27)出席者:福田委員長外各委員及び久保幹事,協議事項:各部門追加用語の審

議。

(3)土木工学叢書委員会(昭.26.4.24)出席者:佐藤委員長,平井,星塾,岡本,矢野の各委員。協議事項:

(1)丸善出版申出の土木工学便覧は時期尚早であり,これと叢書と関聯させないこと。一方技報堂からの申入れもあるからこれと交渉すること。(2)叢書としては第1期計画を終了して暫らく状勢を見ることとし,次回までに委員長が具体案を作製すること。

(4)第1回土木学会事務所増築委員会(昭.26.4.28)

出席者:三浦会長,大西,小宅,黒田(上野)沢,田中,種谷,徳善,富田,西松,今岡の各委員。

議事:(1)会長挨拶の後委員長を互選の結果満場一致,立花次郎氏を推すことに決定。(2)本会創立後の事務所所在地及び現在位置に至つた経過を中川書記長より報告した。(3)新設高架下に事務所増築設計の説明(別図省略)

協議事項:(1)設計は室配置等を打合せて国鉄に委託する。室配置は中2階は書庫程度とし(但し国鉄使用部分は別途)壁に沿つて書棚及び通路を設置し,場合によつては垂直梯子を設ける。(2)高架下防音及び換気設備を国鉄で設計施工し,学会がその検測を引受けること。(3)増築工事一切を国鉄に委託すること。(4)資金計画は目標を140万円とし大体各委員分担すること。各担当委員は依頼先を学会に連絡すること。(5)依頼状を検討訂正成案を得たので印刷準備をすること。

(5)第4回法規小委員会(昭.26.4.30)出席者:稲浦委員長,佐藤,山岡,中島代(佐々木),落合の各委員
協議事項:落合幹事から経過を説明し,同氏案を逐条審議の結果,(1)建設工事の定義(特に仮設物の扱い方)(2)専門別にせず綜合法とし,各専門は認定によるか(3)基礎科目と選択科目に分けて試験する,(4)報酬は基準だけを定めること。(5)経過規程は建築士と同様にする。(6)建設大臣を主務大臣とする。以上次回まで落合幹事に於て訂正のこと。

◎その他

(1)当学会から工業技術庁構造用鋼材規格委員会委員として推薦した平井敦,猪瀬寧雄,友永和夫の3氏と国分理事学会を代表し,原案について検討を行つた。

(2)日本工学会では昭.26.4.18本年度定時総会及び評議員会を開催,本会から前副会長田中茂美(監事)氏及び国分理事出席。議事:昭和25年度会務報告(2)貸借対照表,財産目録,収支決算報告,(3)会務及び会計監査報告,(4)昭和26年度予算案及び事業計画案の審議,(5)定款及び細則の一部を改正し従来の理事長制を会長制とし,評議員を廃すること等全部可決し,続いて理事学会及び監事学会を選挙の結果,日本規格協会,日本金属学会,日本機械学会,土木学

会、電気学会、日本化学会の6学協会が理事学会として当選し、日本鋳業会と日本建築学会が監事学会に当選した。(6) 明春工学会大会、昭和29年日本工学会創立75周年記念日本工学会大会開催については新理事会で研究すること。(3) 日本学術会議力学研究連絡委員会委員長から4.25打合会を開きたいとの照会に接し、丸安理事出席打合の結果、11月初旬講演開催について(イ)世話学会は持廻りとする(ロ)各学会が費用を分担すること、(ハ)前刷及び記録印刷の場合予約募集し、一時学会が費用を立替え得るか、(ニ)第1回を東京で開催し原稿締切を8月末と予定する、等について意見を次回までに持寄ること。

支部だより

1. 北海道支部：4月14日北大工学部で昭和25年度支部総会を開催し後次のような講演と映画の会を催し終つて懇親会に移り、盛大であつた。

講演：池田一男「石狩川流域総合開発計画の概要」、金俊三「吊橋補剛構の上弦挿屈に関する対策」、矢野藤正「印度の河川事業」、映画：水の表情及び砂と闘う。昭和26年度支部役員を改選の結果次の通り決定。

支部長：江藤智(国鉄札幌鉄道管理局札幌駐在運輸支配人)

支部所在地：札幌市北五条西四丁目 札幌鉄道管理局施設部

常議員：真井耕象，三島勇，五味信

商議員：小川譲二，中田勝一，上戸斌司，酒井忠明，一木保夫，沢田詮良，江藤智，岩本常次，宮崎正夫，佐々木喬樹，井上正夫，林猛雄，横道英雄，稲垣茂雄，武田利雄

幹事長：五味信，幹事：八木健二，外未定

2. 中部支部(1) 昭和26年度支部役員改選の結果次の通り決定した。

支部長：立神弘洋(建設省中部地方建設局長)

支部所在地：名古屋市昭和区狭間町28 建設省中部地方建設局(電.千種(73)3759,3661)

常議員：立神弘洋，比企野広治，松見三郎，藤田峻五，中谷茂一，片岡武

顧問：永田民也，花井又太郎，田淵寿郎，比企野広治

評議員：秋草勳，古賀清蔵，高原芳夫，藤田峻五，高坂紫朗，坂本貞雄，堀場敏一，小林庄平，田中精一

西村敏夫，長久保信夫，鈴木清一，大神啓次郎，大野唯糊，大林勇治，松本金吾，杉戸清，石田二郎，荒井利一郎，永井時一，結城朝恭，石川栄次郎，足立貞嘉，姫野勘次郎，河合毅一

幹事長：奥田秋夫，幹事：石田一郎，片岡武，綾龜一，戸田福三郎，鈴木誠一，井上幸太郎，鈴木和平，渡辺新三，四野宮哲郎，高桑鋼一郎，黒田呂久三，中谷茂一，長坂一彦，増山義邦，小栗良知

(2) 第1回幹事会(4月5日)支部長，幹事長，各幹事出席，昭和26年度役員，常議員，収支予算，25年度収支決算及び事業一般，支部内規作成について，26年度行事について，前支部長に記念品贈呈について，学会総会及び年次講演会について，新会員の獲得について，新旧役員会の開催及び議題について，等を審議した。

(3) 見学会(4.22)参加者43名，見学箇所は見返資金による道路整備工事中四日市鈴鹿地区

名古屋市より四日市内に至る既改良区間の快適な乗心地に比べて四日市々内の如く両側に人家連担し且つ幅員狭小で多量の交通量の為に非常な時間を費やして自動車の機能を十分に発揮することが出来ず，又未舗装区間は続いた好天氣の為に乾燥して50m前方の車が見えなくなる程の激しいほこりに一同あらためて道路の改良の必要性を痛感した。

道路の改良工事も坂下の貫通を始め殆んど完了して工事中のものゝ見学のあまり出来なかつた事は残念であつたが坂下地区の2箇所の切取法面の崩壊は悪い地質の法面の保護工の必要と龜山町の陰涼寺山の28000m²の大切取工事を僅か4箇月足らずの内に完成した建設機械の大きな力に感嘆した。更に内部橋の正確な型枠と十分なバイブレーターの使用によつて所々に生じた気泡を除いてモルタル塗りした後の様に美しく出来ていたが，たゞ反りの少く水平の様に見えるのは少し異様に感じた。終りに見学した海蔵橋は上部構造を残して下部は出来終つたがその美しさと施工の確実は前記の内部橋と同じく直轄工事の美点であろう。

最後に龜山町地内は三重県の道路改良工事により通行不能で狭溢な大迂回路をとつた為に非常に時間がかかり見学者に迷惑をかけたのは残念であつたが，43名の多数の参加者を得て極めて盛會裡に行うことが出来，見学者に多大の感銘ををあたえる事の出来たのは幸であつた。

昭和26年5月25日印刷 土木学会誌 定価 80円

昭和26年5月30日発行 第36巻第5号

編集兼発行者 東京都千代田区大手町2丁目4番地 中川一美
印刷者 東京都港区溜池町5番地 大沼正吉
印刷所 東京都港区溜池町5番地 株式会社技報堂

東京都中央局区内千代田区大手町2丁目4番地 電話丸の内(23)3945番
発行所 社団法人土木学会 振替東京16828番